

SONY GROUP CODE OF CONDUCT

ソニーグループ行動規範



ソニーの Purpose、社会的存在意義は「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」ことです。そして、グループの社員が共通で大切にしたい4つの Values、即ち、夢と好奇心、多様性、高潔さと誠実さ、持続可能性、を定義しています。

ソニーグループ行動規範は、Purposeの実践に向けて、Values を踏まえ、私たちが日々の業務を行ううえでの行動指針となるものです。

私たち一人ひとりが、行動規範に沿った責任ある行動を積み重ねることで、幅広いステークホルダーからの信頼を得ることができます。それは、創業以来受け継がれてきたソニーブランドへの信頼を維持し、その信頼を未来へとつなげていくことでもあります。そのために、自分自身がどう振る舞うべきか、行動規範をガイドとして、考えてほしいと思います。

信頼の基盤のもと、クリエイティビティとテクノロジーで私たちが生きる社会に貢献し、「世界を感動で満たす」ことに取り組み続けていきましょう。

ソニーグループ株式会社
代表執行役 会長CEO

吉田 憲一郎



ソニーのより良い未来につながるかどうか、それが地球や社会全体のより良い未来につながるかどうか。これは、ソニーグループ行動規範の基本となる考え方です。

行動規範は、私たちが、この考え方に従い、ソニーのビジネスをフェアに行っていくための助けとなるものです。私たち一人一人が、日々、行動規範に沿って行動することで、お客様、ビジネスパートナー、投資家、ともに働く仲間たち、私たちを取り巻く様々なステークホルダーからの信頼がはぐくまれます。ソニーへの信頼は、私たちを支える大きな力となり、また、その積み重ねがソニーの持続的な成長に貢献します。

行動規範は、ステークホルダーからの信頼を得るために私たちが取るべき行動とは何かを分かりやすく示し、また冊子にはガイドとなる情報も含まれています。ぜひ、折に触れて読んで、日々の業務に役立ててください。迷うことがあれば、上司や専門部署に声をかけてください。

ソニーグループ行動規範を、私たちの中に息づく生きた規範として一緒に実践していきましょう。

ソニーグループ株式会社

執行役員

法務、コンプライアンス、プライバシー担当

竹澤 香織

Our History of Ethical Culture

～創業者の言葉から～

ソニーはCBSレコードやコロンビア・ピクチャーズを買収し、今や日本の会社の代表であると同時に、最も進んだハイテクの会社として世の中から見られるようになってきた。知名度が高くなってきたということは、いつでも公に批判を受ける立場にあるということである。ソニーの知名度の高さを認識し、会社の広告、宣伝、パブリシティ、製品、サービスなど、自分たちの行動が今までどおりでいいのかどうか、反省をしなければならない時代が来ていると思う。

過去40数年の地道な努力の積み重ねによって、私たちのソニーが世界中から高く信用されるようになったのだということをもう一度よく考えていただきたい。会社の財産として蓄積されるものでなければビジネスとは言えない。製品、売り方、アフターケアに至るまで、一つひとつに細心の注意をはらっていかなければ、世界中に広がる見えない大衆の中に信用を築くことはできない。そう思ってこれまで努力してきたし、それを会社のポリシーとしてきた。その結果、今日ソニーの名声が世界中に確立され、多くのソニーファンを持つことができたのである。良い評価は簡単には作られないが、評価が悪くなるのはたちどころに起こる。人間に人格、人徳というものがあるように、会社もやはり人から愛され、リスペクトされる存在であり続けてほしい。

1990年7月10日社内報「タイムズ」

各事業トップの集まる年次グローバル会議での盛田昭夫のプレゼンテーション記事より抜粋



Sony's Purpose & Values

Purpose

存在意義

クリエイティビティとテクノロジーの力で、
世界を感動で満たす。

Values

価値観

夢と好奇心

夢と好奇心から、未来を拓く。

多様性

多様な人、異なる視点がより良いものをつくる。

高潔さと誠実さ

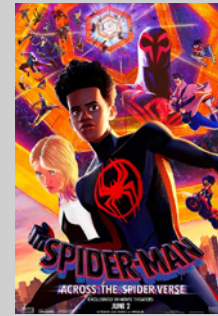
倫理的で責任ある行動により、ソニーブランドへの信頼に応える。

持続可能性

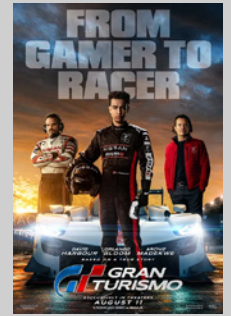
規律ある事業活動で、ステークホルダーへの責任を果たす。



© はまじあき 芳文社・アニプレックス



Spider-Man: Across the Spider-Verse now available on Disc and Digital.
©2024 Sony Pictures Entertainment. All Rights Reserved. MARVEL and all related character names: © & ™ 2024 MARVEL.



Gran Turismo: Based on a True Story now available on Disc and Digital.
©2024 Sony Pictures Entertainment. All Rights Reserved.

この行動規範において、「ソニー」または「ソニーグループ」とは、以下を指します。

- (1) ソニーグループ株式会社
- (2) ソニーグループ株式会社が直接または間接に発行済議決権付株式または持分の過半数を保有する会社
- (3) ソニーグループ株式会社のCEOおよびコンプライアンス担当上級役員の連名にてこの行動規範の適用範囲に含めると決定した会社



1	信頼を築く	08	4	感動を創り、届けるために	21	7	高潔さを保つ	31
1-1	ソニーブランドへの信頼に応える	09	4-1	多様性を活かし、競争する	22	7-1	贈賄をしない	32
1-2	適切な意思決定を行う	11	4-2	感動体験を提供する	23	7-2	利益相反を避ける	33
1-3	声を上げる	12	4-3	誠実に宣伝・販売する	24	7-3	ソニーの資産を守る	33
2	世界と地球に貢献する	14	4-4	公正に競争する	24	7-4	正確に記録し報告する	34
2-1	持続可能な社会のために	15	5	責任をもって協働する	25	7-5	適切な情報開示を行う	35
2-2	地球とともに	16	5-1	取引先と協働する	26	7-6	インサイダー取引をしない	35
3	人を大切にする	17	5-2	責任ある調達を行う	26	7-7	貿易管理に関する法令を守る	36
3-1	人権を尊重する	18	6	クリエイティビティとテクノロジーを支える	27	7-8	税法を守る	36
3-2	多様性を尊重し、お互いを思いやる	19	6-1	責任をもって技術を活用する	28	7-9	責任をもってコミュニケーションする	37
3-3	健全な雇用・労働を確保する	20	6-2	知的財産を創造し、保護する	29			
3-4	健康的で安全な職場を保つ	20	6-3	機密情報を保護する	29			
			6-4	プライバシーを尊重する	30			
			6-5	情報セキュリティを確保する	30			

1

信頼を築く

- 1-1 ソニーブランドへの信頼に応える ————— 09
- 1-2 適切な意思決定を行う ————— 11
- 1-3 声を上げる ————— 12

1-1

ソニーブランドへの 信頼に応える

**倫理的で責任ある行動によって、
ソニーブランドへの信頼に応えます。**

ソニーブランドは、私たちにとって最も価値のある資産の一つです。誠実に、倫理的に、責任をもってビジネスを行うことで、ブランドは守られます。私たちソニー社員は、業務に適用される法令や社内規則を理解し、遵守します。



ソニーロゴタイプの「モーションロゴ」

1-1

私たちの責任

私たち、ソニーのすべての役員および従業員（「ソニー社員」）は、行動規範に従って、以下を行います。

- 業務に適用される、法令、行動規範、社内規則を理解し、遵守します。また、倫理とコンプライアンスを大事にする企業文化を支えます。
- 正しい判断や取るべき行動に確信が持てないときには質問し、社内の責任部署・専門部署へ連絡・相談します。
- 業務を進めるなかで、不適切な行為に気づいたり、その疑いを抱いたりしたときには、声を上げます。

ソニーのマネジャーは、上記に加えて、以下を行います。

- チーム内に、倫理とコンプライアンスを大事にする企業文化を醸成し、チームのロールモデルとなります。
- チームメンバーが、報復を恐れずに声を上げるよう、働きかけます。
- チームメンバーの声に耳を傾け、疑問を真摯に受け止め、提起された問題に適切に対応します。

私たちソニー社員は、行動規範に従って行動します。行動規範に違反した場合、解雇を含む懲戒処分を受けることがあります。

ソニーは、調達先、委託先、ビジネスパートナー、その他の第三者に対して、ソニーと同等の基準を満たすことを期待します。

詳しくはこちら | [🔗 マネジャー向け参考資料\(社内のみ\)](#)

1-2

適切な 意思決定を行う

私たちは日々の業務の中で、ステークホルダーやビジネスに影響を与える可能性のある意思決定を行っています。私たちソニー社員は、十分な情報に基づいて、ソニーにとって最善となる意思決定を行わなければなりません。私たちソニー社員は、意思決定を行う前に、次の基準がすべて満たされていることを確認します。



適用法令、行動規範、またはその他の社内規則に違反していないこと。



会社から意思決定を行う権限を与えられていること。



ソニーにとって最善の選択であり、個人的な利害や自己取引が存在しないこと。



意思決定に関連する事実を確認するために、誠実に、合理的な努力を行ったこと。

ソニーは、適切な意思決定がなされるよう、しっかりとチェック機能が働く形で組織を編成します。

詳しくはこちら | [● 決裁関連情報\(社内のみ\)](#)

1-3

声を上げる

倫理的な職場を作るうえで、私たちが声を上げることはとても大切です。誰かが不適切な行為をしたことに気づいた場合、速やかにその問題を報告します。また、調査等の協力を求められた場合には積極的に協力します。

問題の報告先

ソニーは、法令や社内規則への違反について社員からの疑問や心配を受け付ける窓口を複数用意しています。いつでも以下に報告できます。

- 上長
- 人事部門
- 法務またはエシックス・コンプライアンス部門

これらの窓口を利用することに不安がある場合は、専門の第三者機関が運営するソニー・エシックス&コンプライアンス・ホットラインに連絡することもできます。ホットラインへの報告は匿名で行うことができ、その場合の通報者の身元の記録や追跡は行われません。

どの窓口においても、ソニーは受領したすべての情報を秘密に取り扱います。ソニーは、適切な調査や再発防止策の実施において必要な範囲でのみ、または法令で求められる場合に限り、この情報を共有します。



「ソニー・エシックス&コンプライアンス・ホットライン」:

各国・地域の言語で、24時間 365日利用可能です。
報告は匿名でも記名でも行うことができますが、報告者と連絡を取って報告内容を確認することで調査の質が向上します。



Webまたは電話での報告先はこちらのリンクをご覧ください。

➤ [ソニー・エシックス&コンプライアンス・ホットラインウェブサイト\(社内のみ\)](#)

ホットラインの調査体制と運用状況などについてはこちら

➤ [サステナビリティレポート/倫理・コンプライアンス](#)

1-3

報復の禁止

問題を報告した人、調査に協力した人は、公正かつ丁重に扱われます。ソニーは、誠実に問題を報告した人、調査へ協力した人に対する、いかなる報復行為も許しません。報復行為が立証された場合は、行動規範違反になります。報復を行った人は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

「報復行為」の例		
 罵倒する	 昇進させない	 異動
 仲間外れにする	 退職させる	 いじめ
 左遷 / 降格する	 減給	 低い評価

2

世界と地球に貢献する

2-1 持続可能な社会のために ————— 15

2-2 地球とともに ————— 16

2-1

持続可能な 社会のために

ソニーは、イノベーションと健全な事業活動を通じて、
企業価値の向上を追求し、持続可能な社会の発展に貢献することを
目指します。

人々が感動で繋がるためには、私たちが安心して暮らせる社会や健全な地球環境があることが前提です。ソニーは、株主、顧客、社員、調達先、ビジネスパートナー、地域社会、その他機関などのソニーグループのステークホルダーや地球環境に与える影響に十分配慮して行動するとともに、対話を通じてステークホルダーとの信頼を築くよう努めます。

詳しくはこちら

- ▶ [ソニーグループポータル | 創業者の理念とサステナビリティの考え方](#)
- ▶ [統合報告書](#)
- ▶ [サステナビリティレポート](#)



2-2

地球とともに

ソニーは、地球環境を保全し、将来の世代のために持続可能な地球を維持することが重要だと考えています。

ソニーは、あらゆる生命が存在する地球こそ、感動を生み出す原点だと考えています。そのような考えのもと、ソニーは、人々の心豊かな生活のために、テクノロジーや事業活動を通じて地球環境の保全・改善に努めます。ソニーは商品や事業活動のライフサイクル全体において、環境負荷をゼロにすることを目指します。

詳しくはこちら | [● ソニーグループポータル | 環境](#)



ソニーの超小型人工衛星『EYE』で撮影

3

人を大切にする

3-1 人権を尊重する ————— 18

3-2 多様性を尊重し、お互いを思いやる ——— 19

3-3 健全な雇用・労働を確保する ————— 20

3-4 健康的で安全な職場を保つ ————— 20

3-1

人権を尊重する

**ソニーは、すべての人は尊厳と敬意をもって
処遇されなければならないと考えています。**

ソニーは、バリューチェーン全体を通じて、すべての人の、国際的に認められた人権を尊重します。また、私たちソニー社員は、ソニーの事業活動、商品やサービス、ビジネス上の取引関係によって、人権への負の影響をもたらすことがないように努めるとともに、万一そのような影響が生じた場合には、その是正に向けて誠実に行動します。

詳しくはこちら | [● ソニーグループ人権方針](#)



3-2

多様性を尊重し、 お互いを思いやる

**ソニーは、多様性に富み、お互いを大切にし、
誰もが公平に扱われる職場を作ります。**

ソニーのクリエイティビティと事業の発展は、人に支えられています。人は、周りから自分の価値を認められ、大切にされ、受け入れられて、はじめて活躍することができます。このため、ソニーはダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを大事にします。ソニーは、ハラスメントや差別のない職場環境づくりを目指します。また、ソニーは、人材にかかる雇用や処遇の判断を、実績や能力などビジネス上の正当な理由に基づいて行います。

詳しくはこちら | [ソニーグループポータル | ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン](#)



3-3

健全な雇用・労働を確保する

ソニーは、雇用・労働の健全性を確保し、法令に従って社員を処遇します。

ソニーは、労働者がそれぞれの意思に基づいて、労働組合を結成して参加する権利、または、これらの活動を控える権利を尊重します。

ソニーは、自らの意思に反した労働力をいかなる形であっても用いません。これには、借金返済のための強制労働、囚人労働、人身売買などが含まれます。ソニーは児童を就労させません。ただし、該当地域の法令で認められている範囲内で、役者、歌手、演奏家などの業務に従事する場合を除きます。



「児童」:

15歳未満(該当地域の法令で認められている場合には14歳未満)、または該当地域の法令で規定される就労可能年齢がこれより高い場合は、その年齢未満の人を指します。

3-4

健康的で安全な職場を保つ

ソニーは、健康的で安全、かつ生産的な職場環境を維持します。

ソニーは、社員や取引先の人々の安全・安心、健康を大事にします。私たちソニー社員は、健康と安全に関する適用法令や社内規則を遵守します。

詳しくはこちら | [サステナビリティレポート／安全衛生](#)

4

感動を創り、届けるために

4-1 多様性を活かし、競争する ————— 22

4-2 感動体験を提供する ————— 23

4-3 誠実に宣伝・販売する ————— 24

4-4 公正に競争する ————— 24

感動を創り、届けるために

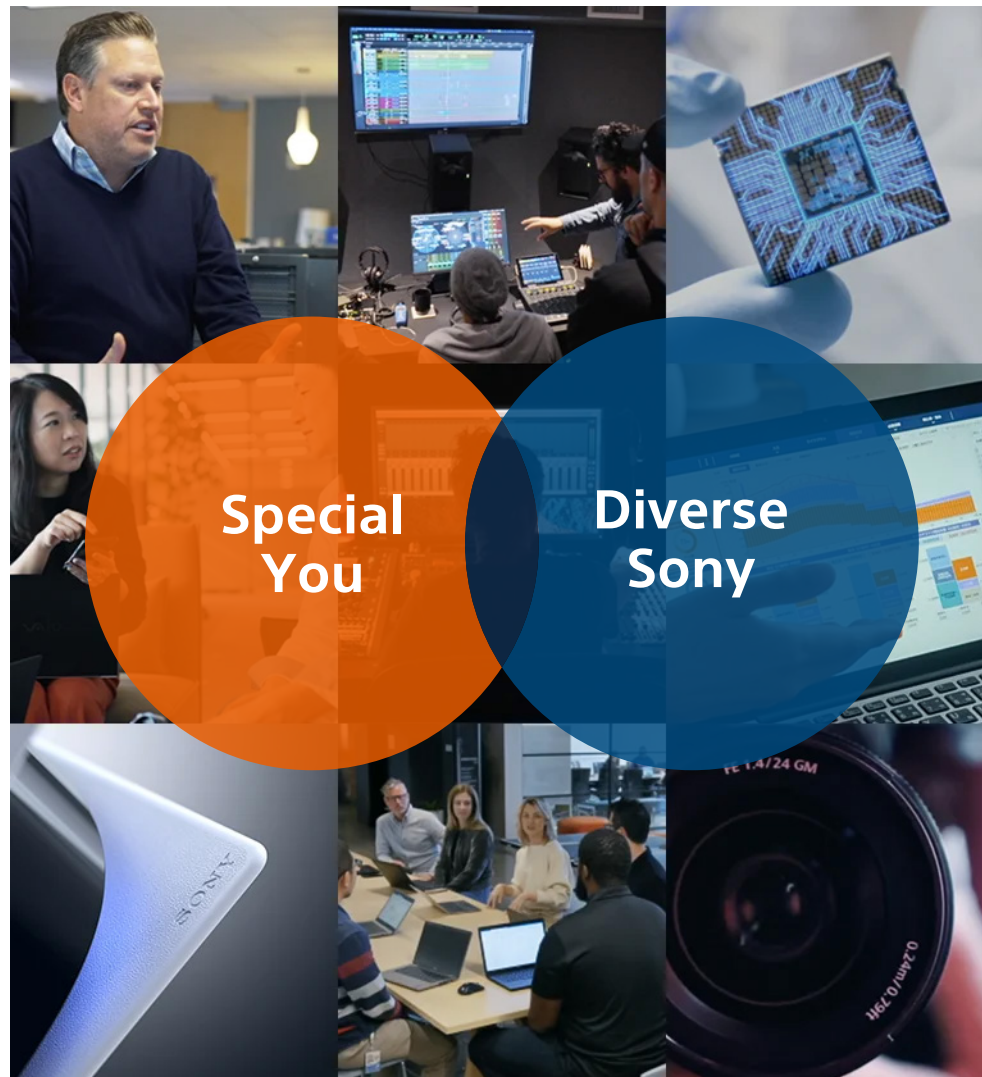
4-1

多様性を活かし、 競争する

ソニーは、その競争力の源泉である、
多様性を大切にします。

多様性はソニーのDNAです。私たちの事業、社員、ステークホルダーは多様で、それぞれがソニーの強みであり、競争力の源泉です。この多様な世界においては、ある文化や地域で社会的にまたは職務上許容される行為が、別の文化や地域では異なった受け止め方をされる可能性があります。私たちソニー社員は、その可能性に十分配慮して、業務を行います。

詳しくはこちら | [ソニーグループポータル | Special You, Diverse Sony](#)



4-2

感動体験を提供する

**ソニーは、人の心を豊かにする
商品・サービス・エンタテインメントを提供していきます。**

感動を創り、届け、分かち合うため、ソニーが大切にしているものとして、商品・サービス・エンタテインメントの品質、安全性、セキュリティ、アクセシビリティがあります。ソニーは、これらを確保するため、法令で定められた基準を満たし、もしくは、その基準を上回るようにします。また、ソニーは、お客様に、正確で、見やすく、わかりやすい情報を提供します。

詳しくはこちら

- ▶ [ソニーグループポータル | アクセシビリティ](#)
- ▶ [サステナビリティレポート / 品質・カスタマーサービス](#)
- ▶ [アクセシビリティ関連情報 \(社内のみ\)](#)
- ▶ [品質マネジメント関連情報 \(社内のみ\)](#)



「商品・サービス・エンタテインメント」:

ソフトウェア製品、ハードウェア製品、サービス、エンタテインメントなど、ソニーがお客様へ提供するものすべてを指します。

「アクセシビリティ」:

年齢や障がいなど個人の特性や能力、環境にかかわらず、商品・サービス・エンタテインメントを利用できることを指します。

4-3

誠実に 宣伝・販売する

**ソニーは、商品・サービス・エンタテインメントを
誠実に宣伝し、販売します。**

お客様は、ソニーがその商品・サービス・エンタテインメントについて、嘘偽りなく伝えることを期待しています。ソニーがその期待に応えることでお客様は十分な情報に基づいて購入等の判断を行うことができます。私たちソニー社員は、虚偽または誤解を招くような広告宣伝やマーケティングは行いません。



広告宣伝やマーケティングについて、判断に迷うことがあれば、法務部門に相談してください。

4-4

公正に競争する

**ソニーは、公正に競争し、
適用法令を遵守します。**

独占禁止や競争に関する法令は、市場での競争を促進し、優れた商品・サービス・エンタテインメントをより良い条件で提供する会社が成功できるようにするための、重要なルールです。法令上、ソニーが他社との間で、公正な競争を阻害する合意や行為をすることは禁止されています。また、競合他社との間で情報交換を行う前に法務部門のアドバイスを受ける必要があります。私たちは、どのような地域で事業をするにしても、適用される法令を知り、遵守しなければなりません。

詳しくはこちら | [◆ ソニーグループ独占禁止法 / 競争法遵守グローバルポリシー \(社内のみ\)](#)

5

責任をもって協働する

- 5-1 取引先と協働する _____ 26
- 5-2 責任ある調達を行う _____ 26

5-1

取引先と協働する

ソニーは、倫理とコンプライアンスに関して責任をもって取り組むビジネスパートナーと取引します。

ソニーは、ビジネス目標を達成するために、第三者であるビジネスパートナーと協働しています。私たちが協働するパートナーがどのような人たちであるかをよく知ることが必要です。パートナーをよく知ることが、適用法令を遵守することにつながり、また、贈賄、詐欺、マネーロンダリングをはじめとする違法あるいは不適切な行為の発生リスクを減らすことができます。

詳しくはこちら | [● ソニーグループ第三者精査規程\(社内のみ\)](#)

5-2

責任ある調達を行う

ソニーは、調達先や委託先と信頼関係を築き、公正に、責任ある調達を行います。

ソニーのビジネスにおいて、調達先や委託先は欠かすことができないとても重要な存在です。ソニーは、調達先や委託先と相互に信頼しあい、協働できる関係を築きます。そのため、調達先や委託先が、ソニーの企業倫理に関する方針、適用される法令やソニーの規程を理解し、これらを遵守することを期待します。ソニーは価格、品質、技術、納期などの客観的な条件にもとづいて、公正な調達を行います。

詳しくはこちら

- ▶ [ソニーサプライチェーン行動規範](#)
- ▶ [ソニーグループ責任ある鉱物サプライチェーン方針](#)
- ▶ [Sony Music Supplier Code of Conduct](#)
(Sony Music Entertainment のサプライヤーに適用・英語のみ)
- ▶ [Sony Pictures Entertainment Supplier Code of Conduct](#)
(Sony Pictures Entertainment のサプライヤーに適用・英語のみ)
- ▶ [Sony Interactive ビジネスプリンシプル](#)
(Sony Interactive Entertainment のビジネスパートナーに適用)

6

クリエイティビティとテクノロジーを支える

6-1 責任をもって技術を活用する ————— 28

6-2 知的財産を創造し、保護する ————— 29

6-3 機密情報を保護する ————— 29

6-4 プライバシーを尊重する ————— 30

6-5 情報セキュリティを確保する ————— 30

6-1

責任をもって 技術を活用する

ソニーは、技術の責任ある利用に取り組めます。

イノベーションや先端技術には、世界中の人々に大きな価値と利益をもたらす潜在的な力があります。ソニーは、革新的な技術を用いて創造性を広げ、商品・サービス・エンタテインメントを通じて感動を届けます。その一方で、時に技術が脅威となるリスクがあることも理解しています。そのような考えのもと、私たちは関連する法令や社内規則を遵守し、倫理的に技術を開発・使用します。

詳しくはこちら

- ▶ [ソニーグループのResponsible AIへの取り組み](#)
- ▶ [サステナビリティレポート／テクノロジーの活用](#)
- ▶ [AI 倫理関連情報\(社内のみ\)](#)



ソニーグループの Responsible AI への取り組み

ソニーは、AI テクノロジーを、人々の生活をより豊かにし社会を発展させるために活用することをめざして、ステークホルダーと積極的に対話を進めながらアカウントビリティと透明性を追求していきます。ステークホルダーからの信頼に応える製品サービスを提供しつづけるため、Responsible AI (責任ある AI) を推進していきます。

6-2

知的財産を創造し、 保護する

**ソニーは、知的財産を積極的に保護するとともに、
第三者の権利を尊重します。**

ソニーの知的財産は、私たちのクリエイティビティとテクノロジーのあくなき追求によって生じるものです。私たちソニー社員は、ソニーの知的財産の創造に努め、これを保護します。また、第三者の知的財産を故意に不正使用したり、侵害したりしません。

ソニー社員の行った発明や創作は、法令で認められている範囲でソニーに帰属します。私たちは、法令やソニーの社内規則に従い、かかる発明や創作に関するソニーの権利を保全します。

詳しくはこちら | [◆ 知的財産関連情報\(社内のみ\)](#)



「ソニーの知的財産」の例：

特許、意匠、商標、著作権(楽曲・演奏・映像作品・コンピュータプログラムを含む)、営業秘密。

6-3

機密情報を 保護する

ソニーは、機密情報を保護します。

機密情報は、ソニーの情報であると、調達先・ビジネスパートナー・顧客から預かった情報であることを問わず、ソニーの事業の継続にとって不可欠なものです。私たちソニー社員は、会社が承認した範囲でのみ、機密情報を使用し、また、外部に開示します。

詳しくはこちら | [◆ 機密情報関連\(社内のみ\)](#)



「機密情報」：

重要または価値のある情報で、以下のように一般に開示されていないものを指します。
発明、創作、ノウハウ、営業秘密、財務情報、企業戦略、販売計画、顧客・調達先・ビジネスパートナーとの関係に関する情報。

6-4

プライバシーを 尊重する

**ソニーは、個人のプライバシーを尊重し、
個人情報を保護します。**

ソニーに関わる人々やステークホルダーは、ソニーが事業活動において収集したあらゆる個人情報を保護することを期待しています。ソニーは個人情報を保護し、倫理的に取り扱うことに関する社内規則を定めることで、その信頼に応えます。私たちソニー社員は、個人情報の収集、保管、使用、開示、廃棄に関する社内規則を遵守します。

詳しくはこちら

▶ [プライバシー関連情報\(社内のみ\)](#)

▶ [ソニーグローバルプライバシーマネジメントポリシー\(社内のみ\)](#)

6-5

情報セキュリティを 確保する

ソニーは、情報資産と情報システムを守ります。

ソニーは、ビジネスの成功のためにも、そしてステークホルダーの信頼を維持するためにも、情報セキュリティが重要であることを認識しています。私たちソニー社員は、ソニーの情報セキュリティに関する社内規則に従い、ソニーの情報およびシステムを守ります。

詳しくはこちら

▶ [情報セキュリティ関連情報\(社内のみ\)](#)

7

高潔さを保つ

7-1	贈賄をしない	32	7-4	正確に記録し報告する	34	7-7	貿易管理に関する法令を守る	36
7-2	利益相反を避ける	33	7-5	適切な情報開示を行う	35	7-8	税法を守る	36
7-3	ソニーの資産を守る	33	7-6	インサイダー取引をしない	35	7-9	責任をもってコミュニケーションする	37

7-1

贈賄をしない

ソニーは、公的機関(政府)、民間(商業)を問わず、あらゆる形の贈賄を禁止しています。

贈賄は、ソニーがビジネスを展開する地域社会や経済に悪影響を及ぼします。私たちソニー社員は、ビジネス上の不当な利益を得るために、贈答、接待、その他の便益を供与しません。私たちは、適用されるすべての贈賄防止法令を遵守します。

特に、公務員等との取引には細心の注意を払います。公務員等に対し、直接的にも間接的にも、ソニーへの有利な取り扱いを得る目的で、何らかの価値のあるものを勧めたり、約束したり、提供したりしません。

詳しくはこちら

◆ [ソニーグループ贈賄防止規程\(社内のみ\)](#)

◆ [ソニーグループ第三者精査規程\(社内のみ\)](#)



注意すべきポイント：

- ・公務員等への贈賄は一切禁止されています。
- ・公務員等への支払はすべて正確に記録されなければなりません。
- ・公務員等へ支払う場合は、社内規則に従って事前の承認を得る必要があります。
- ・公務員等には、国営企業、公立学校、公立病院、公共放送会社等で働く人および王族等も含まれます。

判断に迷うことがあれば、法務またはエシックス・コンプライアンス部門に相談してください。

7-2

利益相反を避ける

ソニー社員は、ソニーにとってベストとなる行動をし、個人的な利害を業務に持ち込みません。

私たちが、ソニーのビジネスにとって最適な判断を行い、ビジネス目標を達成していくには、個人的な利害を持ち込まないことが大切です。私たちは、業務上の判断に影響を及ぼすような不適切な贈答を受け取らず、また、そのような経済的な関係を持ちません。私たちは、利益相反を疑われるような行動をしません。利益相反の疑いが生じた場合には、速やかにその内容を上長に報告し、適切な確認と承認がなされるようにします。

詳しくはこちら

▶ [利益相反関連情報\(社内のみ\)](#)

▶ [贈答・接待関連情報\(社内のみ\)](#)



利益相反にあたるかどうか判断に迷うことがあれば、法務またはエシックス・コンプライアンス部門に相談してください。

7-3

ソニーの資産を守る

ソニーは、損失や不正使用からソニーの資産を守ります。

ソニーの資産は、正当な事業目的のみに活用でき、会社から使用を認められたソニー社員、またはその社員が指定した者だけが使用できます。また、私たちソニー社員は、ソニーの資産を使用して、個人的な利益を追求してはなりません。ソニーは法令で認められている範囲において、ソニーのコンピュータまたはその他のデバイスに保存されている電子メール、データ、ファイルを含むソニーの資産を監視・閲覧する権利を有しています。



「ソニーの資産」:

有形資産のほかに、ブランド、商標、ノウハウ、機密情報、情報システム等の無形資産も含まれます。

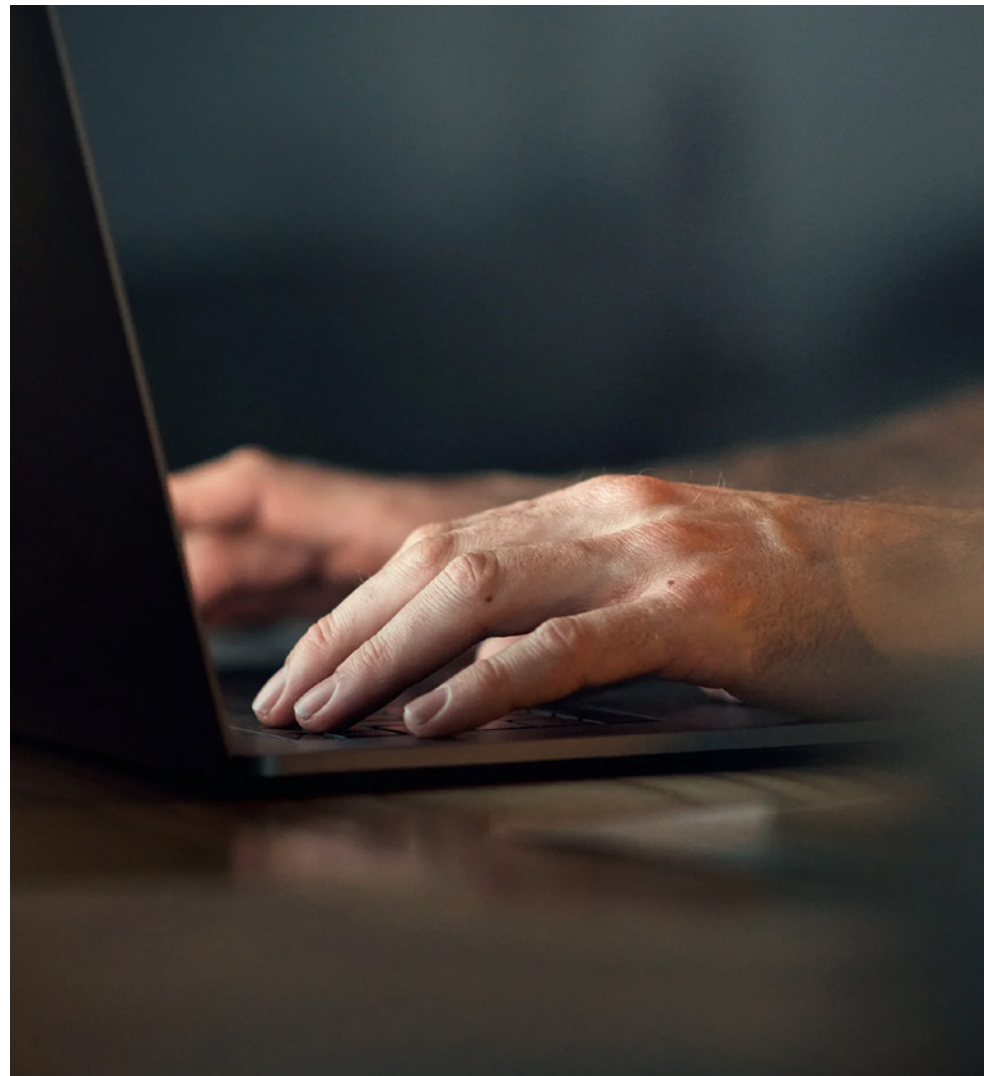
7-4

正確に記録し報告する

**ソニー社員は、すべての記録と報告を正確に、抜け漏れなく、
誠実に、適時すみやかに行います。**

タイムリーかつ正確に記録し報告することは、ビジネス上の適切な意思決定に役立ちます。そのため、私たちが記録・報告する情報は、事実を適切に表すものでなければなりません。これには、会計・財務記録をはじめとするすべての社内外の情報が含まれます。私たちソニー社員は、不正確な記録や、誤解を与える記録、虚偽の記録を作成しません。

詳しくはこちら | [● ソニーグループ記録保管規則\(社内のみ\)](#)



7-5

適切な情報開示を行う

ソニーは、公正で正確、かつ理解しやすい情報開示をタイムリーに行います。

ソニーの株式は、日本と米国の取引所に上場されています。株主や投資家は投資判断を行うにあたり、ソニーのタイムリーかつ正確な情報開示に依拠しています。ソニーは信頼関係を維持するために、株主や投資家との積極的な対話に努めます。また、株主や投資家はソニーが情報開示に関する適用法令を遵守することを期待しています。情報開示にかかわるソニー社員は、ソニーの「会社情報の適時開示に関する統制と手続き」に従い、行動します。

詳しくはこちら

- ▶ [会社情報の適時開示に関する統制と手続き\(社内のみ\)](#)
- ▶ [情報開示関連\(社内のみ\)](#)

7-6

インサイダー取引をしない

ソニー社員は、重要な未公開情報を株式や証券を売買するために使用せず、第三者と共有しません。

私たちは、ソニーで業務をするなかで、一般に知られていない情報を知ることがあります。ある会社の重要な未公開情報を知りながら、その会社の株式や証券を取引すること、また、そのような取引を誘発しかねない重要な未公開情報を第三者に伝えることは、多くの国で違法とされ、民事および刑事上の処罰の対象とされています。私たちソニー社員はソニーのインサイダー取引に関する社内規則をよく確認し、遵守しなければなりません。

詳しくはこちら

- ▶ [Global Policy on Insider Trading Prevention\(社内のみ\)](#)
- ▶ [インサイダー取引防止規定\(社内のみ\)](#)



「重要な未公開情報」:

合理的な投資家が株式や証券の取引の判断において重要とみなすであろう未公表の情報を指します。

7-7

貿易管理に関する 法令を守る

ソニーは、貿易管理に関する法令や社内規則に従って事業活動を行います。

ソニーの業務において、平和及び安全の維持を目的とした貿易管理に関する法令が適用される場合があります。これらの法令は、特定の製品、サービス、ソフトウェア、技術等を、特定の国・地域、組織または個人に、販売や提供することなどを禁止または制限しています。私たちソニー社員は、貿易管理に関するこれらの法令や社内規則を遵守します。

詳しくはこちら | [▶ ソニーグループの貿易管理について\(社内のみ\)](#)



Q. 外国の取引先に、製品や技術情報を提供する場合に注意することは？

A. その取引先や取引の目的が、関連する規制で制限されていないか、輸出する製品・技術情報が規制品目でないか、確認する必要があります。また、輸出にあたり当局の許可が必要な場合は、必ず、輸出の前に取得する必要があります。

7-8

税法を守る

ソニーは、事業を行う国・地域で適用される税法や関連規則および国際税務に関する一般的に認められたルールやガイダンスを遵守します。

ソニーは、世界中で事業を行う責任ある企業市民として、適用法令に従って税金を支払う義務があることを理解しています。経営のなかで、税を適切に管理することは必要不可欠なことです。ソニーはこれを法に基づく範囲で行います。私たちソニー社員は、適用されるすべての税法と関連規則を遵守します。

詳しくはこちら | [▶ サステナビリティレポート／税務戦略の方針とガバナンス体制](#)

7-9

責任をもって コミュニケーションする

**ソニー社員は、メディア等へのコミュニケーションにおいて
会社の了解を得たうえで、明確かつ正確な内容を発信します。**

私たちソニー社員がソニーについて発言することは、ソニーグループの信用に影響を与える可能性があります。ソニーでは、世の中に明確で正確な情報を提供するために、メディアや証券アナリスト等とのコミュニケーションは、広報やIR等の適切な部門のみが行います。また、私たちソニー社員がソニーを代表して報道陣や記者・証券アナリスト等に接触・対応する場合には、広報・IR等の部門に相談するなどして、会社の事前の了解を得る必要があります。

個人としてプライベートでソーシャルメディアを利用する際にも、社内規則に従い、ソニーを代表して発言している印象を与えないようにします。

詳しくはこちら | [▶ ソーシャルメディア利用関連ポリシー\(社内のみ\)](#)





ソニーロゴタイプの原器

ファウンダーの井深さんと盛田さんは「SOUND」の語源となったラテン語の「SONUS(ソヌス)」と、
かわいい坊やという意味の「SONNY」を掛け合わせて「SONY」という名前を生み出しました。

発音しやすい世界共通の四文字と、短くも躍動感あふれる響きには、
井深さんが書いた設立趣意書の「自由闊達」の精神が息づいています。

この写真は、「ソニーの最大の資産はS・O・N・Yの四文字」と唱え続けた
元会長の大賀さんに贈られたソニーロゴタイプの原器。

原器とは、物事の基準となる器。ソニーのブランドイメージを大切にしたいの象徴として、
この行動規範の表紙に掲載しました。

SONY GROUP CODE OF CONDUCT

ソニーグループ行動規範

©2003-2024 SONY GROUP CORPORATION

管理番号：2024.4.1

発行元：ソニーグループ株式会社 エシックス&トラスト部

SONY